

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

2K4K8K

高シールド

H5
3BITA

4K・8K放送対応

家庭用ブースター

UHF 470~710MHz

CS/BS-IF 1032~3224MHz 増幅用

前置ブースター用給電スイッチ付

DC15V電源重畳方式

CU41AS

UHF41dB形
CS/BS35dB形

4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

本製品はケーブルテレビとFM放送には使用できません。

付属品



防水キャップ……3個



F5接続リング付……5個
(5C相当ケーブル用)

ブースターの効果について (知っておいていただきたいこと)

このような場合に **効果があります**

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

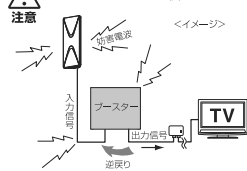
このような場合、ブースターを使用しても **効果がありません**

- 電波の受信品質が低い
- 視聴エリアではない電波線にアンテナを向けている
- ブースターを接続する前の方がよく映っていた
- 明夕で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください

ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けしないと、自分の家や近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書4頁に確実に行う
- 入力側と出力側のケーブルは、来ねばりブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付けする場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発塵(妨害電波が発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発塵を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

一般的な注意事項	機器の分解禁止	水ぬれ禁止	接触禁止	一般的な注意事項	取り付け指示	指示を守る
----------	---------	-------	------	----------	--------	-------

警告

誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があります。

異常があるときは、**すぐに使用を止める**
煙が出ている、変なにおいがあるなどの異常状態のまま使用しない
火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるまでを確認して販売店・カスタマーセンターにご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、電流を流す場合、途中には通電機器以外は絶対に挿入しない
通電機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
コミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。

電源コードを抜きときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグの抜きやすい場所に設置する
異常があった場合などに、すぐに電源プラグをコンセントから抜ける場所に設置してください。

ぬれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、製品には触れない
感電の原因となります。

同軸ケーブルを傷つたりしない
本製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接点の加工などで心線と編組を接続させたり、同軸ケーブルを傷つたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

電源コードや同軸ケーブルを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ケースが破損した場合は、電源プラグや同軸ケーブルを抜く
本製品から電源プラグや同軸ケーブルを抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

製品にテープ・クロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団のうすに置かない
熱がこもり、火災の原因となります。

製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。

製品内部に水が入ったり、ぬれたまじりようにカバーを正しく閉め、また、接続する同軸ケーブルには防水キャップを正しく取り付ける
万一、内部に水などが入った場合は、まず本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、**すぐに接続している電源プラグを抜く**
万一、落としたり、内部に水などが入った場合は、まず本製品に接続している電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなる場合があります。
● 直射日光の当たる場所
● 放熱機能のないボックス内
● 屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
● 湿気やほこりの多い場所
● 調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
● 油煙や湯気があがる場所

ブースター増幅部を以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
● 強度の弱い場所
● 不安定な場所
● ぐらつきたり振動したりする場所
● 傾いた場所

電源コードを傷ついたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、おぼしたり、引っ張ったりしない
また、重いものをのせたり、加熱(熱器具に近づけるなど)したりしない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)は買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

製品内部に異物などを差し込まない
製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

取り付けネジや接続の締め付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する
落ちたり、破損したりして、けがや故障の原因となります。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとうラジオ音声にノイズが入る場合があります。



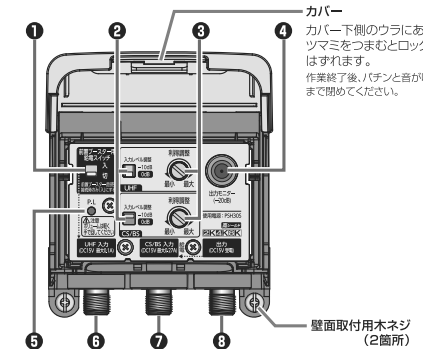
お取り扱いの前に ※設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行ってください。

- ブースターを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 入出力端子へのF形接続の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(締め付けの過不足は故障や障害の原因となります)。
- すべての放送(2K・4K・8K)を見るためには、3224MHzまで対応した同軸ケーブルや4K・8K対応のBS・110度CSアンテナなどの機器が必要です。
- 電源部(PSH30S)は、この製品の増幅部以外には使用しないでください。

1 各部の名称と機能

※下部スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最大値です。
※各スイッチおよびボリュームは手で軽く回してください。強く回すとボリュームが破損する恐れがあります。

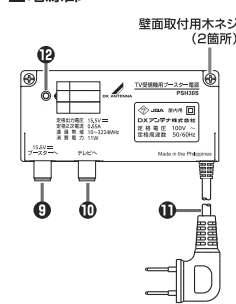
■増幅部 (カバーを開けた状態)



- 前置ブースター用給電スイッチ**
増幅部とUHFアンテナ間にUHF前置ブースター(別売)を接続する場合に1に入します。(電源供給が同軸重畳方式の前置ブースターの場合)
※ 出荷時: 切
※ 詳細はウラ面「接続例」をご覧ください。
- 利得切換(入力レベル調整)スイッチ**
アンテナからの信号を増幅する際の利得を選択します。
※ 出荷時:
UHF 31dB(-10)
CS/BS 18/25dB(-10)
- 利得調整ボリューム**
各帯域において10dBの利得を連続で調整できます。
※ 出荷時: 利得最大
※ ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)
- 出力モニター端子(-20dB)**
レベルチェッカー(別売)などを用いて調整をする場合に使用します。
- P.L.(パイロットランプ)**
電源を供給すると点灯します。
- UHF入力端子**
UHFアンテナに接続します。
●を「入」にするとUHF前置ブースター(別売)に電源を供給できます。
- CS/BS入力端子**
BS・110度CSアンテナに接続します。CS/BSコンバーター用電源(DC15V、最大0.27A)を常時供給する端子です。
- 出力端子**
●と接続します。
増幅された信号が出力されます。同時に電源部から電源が供給されます。

- UHF前置ブースター(別売)を接続しない場合は必ず●を「切」にしてください。【入】で使用すると、本製品が動作せず、故障の原因となります。
- ●の入力端子に別売のアンテナターミナル(減衰器)を接続する場合は、必ず通電ケーブルの物を使用してください。
- スイッチを切り換える際は切替操作を数回行い、スイッチ接点の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接続不良の原因となります。

■電源部



- ブースターへ**
●と接続します。増幅された信号が入れます。同時に増幅部へ電源を供給します。
- テレビへ**
テレビと接続します。増幅された信号をテレビ側へ出力します。
- 電源コード**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行います。
※ パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。
- P.L.(パイロットランプ)**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むと点滅し、同軸ケーブルを増幅部に接続すると、点灯します。同軸ケーブルがショートや断線している、下記のように光でお知らせします。

【お知らせ】	【状態】
点灯	正常
点滅	断線または未接続
消灯	ショート

※ 点滅・消灯のときはウラ面「図」をこんときほの●をご覧ください。

2 取り付ける

垂直マストに取り付ける	増幅部	電源部	壁面・屋内	壁面取付・ステンレスバンドによる取付・壁面取付
-------------	-----	-----	-------	-------------------------

- コの字形金具をはずす**
金具がはずれにくい場合は緩ナットを少し緩めてください。
- コの字形金具を90°起こす**
起こす
- マスト挿入金具の一方(右側)をはずす**
マスト挿入金具
- 本体とマスト挿入金具でマストをはさむ**
本体は入出力端子が下向きになるように取り付けください。
(上から見た図) 取付マスト径の目安
φ22mm ~ φ30mm
φ25mm ~ φ40mm
φ34mm ~ φ40mm
φ42mm ~ φ49mm
φ49mm ~ φ49mm
- マスト挿入金具をしっかりと引付け、緩ナットをしっかりと締める**
マスト挿入金具を矢印の方向にスライドして、奥までしっかりと引付けてください。
●隙間があると振動や事故の原因となります。
その後、緩ナットをしっかりと締め付けてください。
締結トルク: 1~1.5N・m
奥までしっかりと引付ける

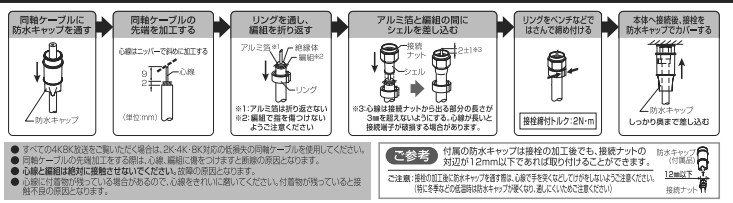
コの字形金具を付け替えると、水平マストにも取り付けできます。付け替え手順は下記をご覧ください。

- コの字形金具をはずす**
片方だけはずす
- 差し込む**
ココを支点に
- 回転させて起こす**
ココを支点に
- 固定する**
(1) スライドしてココにめ込む
(2) スライドしてココにめ込む
完成図
上記「垂直マストに取り付ける」【図】を参考に、コに取り付けてください。

- ステンレスバンドで取り付ける**
(φ49mmを超える垂直マストに取り付ける場合)
市販のステンレスバンド(10mm幅)を本体裏面の側面に通して取り付けください。
● コの字形金具は黄色いキップと緩ナットは必ず手回しで締め付けてください。
- 板壁へ取り付け**
本体下部を木ネジ2本で壁面にしっかりと固定してください。
- 電源部 板壁へ取り付け**
電源部にセットされているネジ2本で、図のようにしっかりと壁面(板壁)等に固定してください。
● 電源部は電気のあたらない壁面に設置してください。
● 電源部を屋外設置する場合は、防水・防雨ならびに放熱処理を施した収容室内に必ず設置してください。

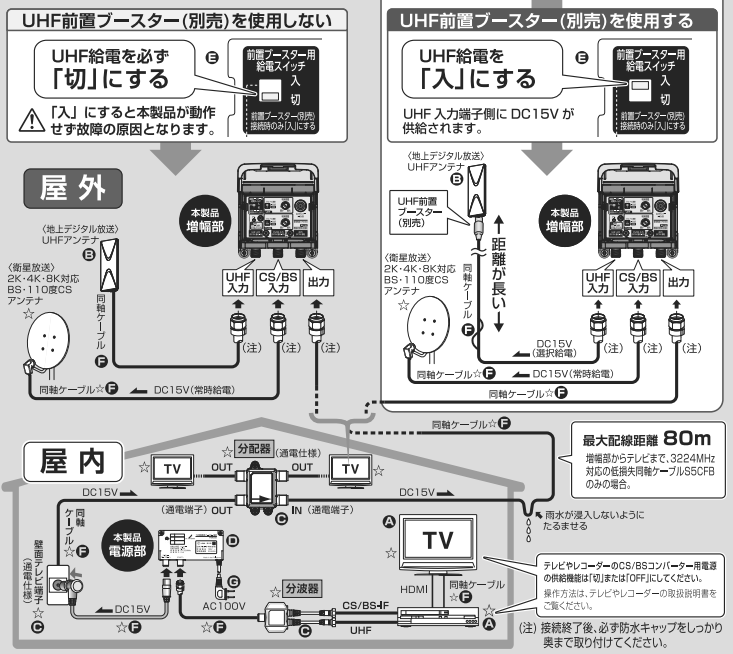
3 接栓への同軸ケーブルのつなぎ方

※F-5接栓(付属品)への同軸ケーブルの加工方法
(SSCFB相当ケーブルの場合)



4 接続例

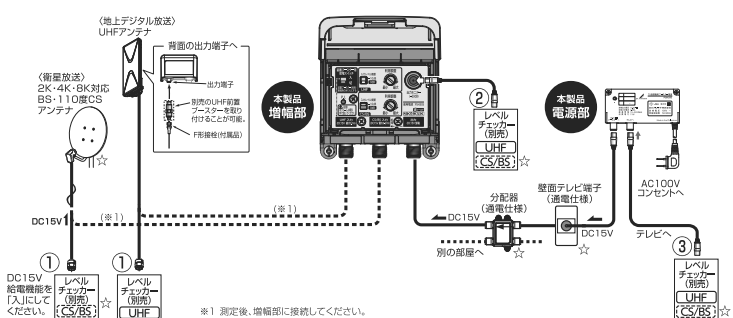
- ※図中の①～⑥は、後述「6」こんなときは」に対応しています。
- ※すべての放送(2K・4K・8K)を見るためには、3224MHzまで対応したケーブルや☆印の機器が必要です。
- ※増幅部と電源部の間に接続する機器は、通電形を使用してください。



5 調整する

調整にはレベルチェッカー等の測定器を使用してください。

- 増幅部と電源部を同軸ケーブルで接続してください。次に、電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、増幅部と電源部のパイロットランプがともに点灯することを確認してください。
- ＜パイロットランプが点滅している、または消灯している場合＞
- ※後述の「6」こんなときは」の②を確認し、問題を解決してください。
- ※すべての4K・8K放送を見たい場合は、4K・8K放送に対応したケーブルや☆印の機器(3224MHz)が必要です。



① 入力レベルの確認

プースターの入力レベルをレベルチェッカー(別売)などで確認し、受信可能なチャンネルの入力レベルに応じて「利得調整ボリューム」と「利得切換スイッチ」で調整してください。

- 入力レベル範囲の下限(UHF: 41dBμV)に満たない場合
アンテナの方向の再調整を行ってください。それでも改善しない場合は、UHF前置プースター(別売)の追加や、高利得/狭指向性アンテナへの変更の検討が必要となります。
- 入力レベル範囲の上限(UHF: 72dBμV)を超える場合
別売のアンテナを接続して調整してください。

帯域	入力レベル	利得切換スイッチ
UHF	41～62 dBμV	30dB-15dB (CS/BS)
	51～72 dBμV	30dB-0dB (CS/BS)

入力レベルの測定値によって、複数のスイッチに当てはまる場合は、高い利得側を選択してください。

② 出力レベルの確認

出力モニター端子にレベルチェッカー(別売)などを接続して定規格出力レベル(出力モニター端子レベル+20dB)を超えないように利得調整ボリュームで調整してください。

③ 最終チェック

テレビ受信機(以下テレビ)への入力レベルをレベルチェッカー(別売)などで確認し、右表(上段)の範囲であることを確認してください。最後にテレビで、受信可能なチャンネルの映像が正常に映ることを確認してください。

- レベルの上限を超える場合
利得調整ボリュームで調整してください。調整できない場合は、利得切換スイッチを再調整してください。
- レベルの下限に満たない場合
後述の「6」こんなときは」の②をご確認ください。お買い上げの販売店、および工事店にご相談ください。

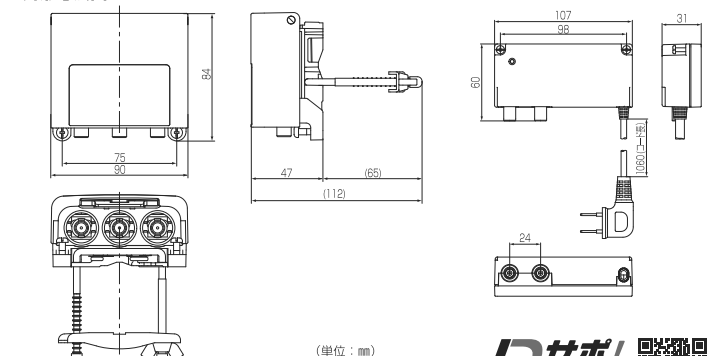
6 こんなときは

※調整しても放送が映らない場合や、ブッキングノイズがある場合は下記項目をチェックしてください。

症状	ここをチェック	前記④(図参照)とあわせてご確認ください	対策・処置のしかた
調整時	以前から地上デジタル放送は映っていましたか?	A	受信品質が低いために以前から映っていませんでした。視聴エリアではない電波帯にアンテナを向けても正常に受信できません。
	UHFアンテナの向きが、お客さまの視聴エリアの電波帯に向いていますか?	B	受信品質を改善するためにはアンテナの方向や高さを変えたり、高性能アンテナに交換するか、お買い上げの販売店、または工事店にご相談ください。
	各機器の端子へのケーブル接続は正しくなっていますか?	C	各機器の端子の接続を確認し、間違っている場合は接続しなおしてください。
	電源部のパイロットランプ(P.L.)が点滅、または消灯していますか?	D	点滅している……増幅部に電源が回っていません。電源部と増幅部の間に接続する分配器や増幅器端子(端子)は、通電形(※)を使用し、必ず指定された通電ケーブル(ケーブル)を接続してください。 ※ 電流を通過させる端子を持った機器。
	前置プースター(別売)用給電スイッチが入りっぱなしになっていますか?	E	消灯している……接続の心線が曲がって接続されていない。心線に「網」線が接続(ショート)しているのと誤りです。接続加工部を確認し、接続しなおしてください。
後日	テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていますか?	A	前置プースターを使用していない場合は、必ず「切」にしてください。「入」にすると、アンテナがショートして故障の原因となります。
	BS・110度CS 4K・8K放送が映らない	A	ご使用のテレビの説明書の受信推奨レベルを確認いただき、テレビの「初期設定」の「アンテナレベル」を画面で確認しながら、再度増幅部を調整してください。 ※ 調整のしかたは「5」調整する」参照
	テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていますか?	A	受信レベル不足の可能性があり、テレビレコーダーの入力レベルを確認して再度増幅部を調整してください。また、別売の桌上プースターを使用すると改善する可能性があります。※ 調整のしかたは「5」調整する」参照
	同軸ケーブルが破損、断線していませんか?	F	各ケーブルを確認して、断線していたら交換してください。
	電源部のプラグがAC100Vコンセントから抜けていませんか?	G	抜けている場合は、差し直してください。

仕様

■外形寸法図



■規格表

品 名 / 型 番		CS/BS-IF・UHFブースター / CU41AS		電源部 : PSH30S	
使用帯域	UHF	UHF CS/BS-IF		周波数帯域(MHz)	10～3224
周波数帯域	470～710	1032～3224(1032～2150)		電圧/定格消費電力	AC100V/50/60Hz / 11W
入力レベル範囲	41～62 (72)(dB)	43～69 (79)(dB)		電源電圧	DC15V/0.55A
標準利得	(dB)	41	28/31/30/103/21/103/32/24MHz	入力カインピーダンス (Ω)	75 (F形)
定格出力レベル	(dB)	103(9dB)	19/20/104/103/21/103/32/24MHz	挿入損失	0～2.1(100MHz) 0～2.0(1000～2610MHz) 0～2.5(1000～3224MHz)
利得切換(入力レベル調整)	(dB)	31, 41 (スイッチ切替)	18/25/28/35(スイッチ切替)	使用温度範囲 (℃)	10～+40
利得調整範囲	(dB)	0～10(上)下(連続可変)	0～10(上)下(連続可変)	外 形 寸 法 (mm)	60(H) X 107(W) X 31(D)
帯域内周波数特性	(dB)	±2.5(以下)	全帯域で±3.0(以下) 任意の34.5MHzで±2.0(以下)	質量	0.2
雑音 指 数 (dB)		1.5以下 (3dB)	6.0以下	注(1) ()内は入力ATTを10dBにした際の最大入力レベルで (2)(3) ()内は入力ATTを10dBにした際の最大入力レベルで (3)3470～500MHz:1.7以下, 650～710MHz:1.8以下 (4)利得最大時 (5)UHF帯電源短絡時 (6)BS/CSコンバーター用電源短絡時 (7)BS/CSコンバーター用電源±UHF電源短絡時	
入出力インピーダンス (Ω)		75 (F形)	75 (F形)	仕様は改良により、予告なく変更されていくことがおまのこです。ご了承ください。	
V S W R		2.5以下	2.5以下		
相互変調 (IM3) (dB)		-68以下 (3dB)	-		
C I N (dB)		-	-22以下		
出力モニター (dB)		-	-20		
耐 衝 撃 電 圧		入出力端子・電源端子: JIS C 2501 (1/250μs), IEC: ±15kV, ±15kV (1/250μs) 8/20μsコンデンサ			
電源供給電圧		DC15V/0.1A	DC15V/0.2A		
電 流 / 消 費 電 力		AC100V/50/60Hz / 3.4W, 4.8W (3dB), 8.1W (9dB), 9.0W (9dB) DC15V / 0.14A, 0.24A (3dB), 0.41A (3dB), 0.51A (3dB)			
使用温度範囲 (℃)		-20～+50			
耐湿度強度 (RH%)		34以下	40.2以下		
外形寸法 (mm)		84(H)X90(W)X47(D)			
適合マスト径 (mm)		φ2～49			
質量 (kg)		0.22			



H&Sグループの製品は、世界中で採用されています。高性能の電子機器技術と、豊富な経験と実績を、お客様のニーズに合わせて提供いたします。ご要望に応じて、最適な製品とサービスをご提案いたします。

2K4K8K 2K・4K・8K放送対応マークは、BS-110度CS 2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応した製品であることを示します。

保証書

保証期間	保証期間	保証期間
1年	1年	1年
無償修理	無償修理	無償修理
適用の除外	適用の除外	適用の除外
カスタマーセンター	カスタマーセンター	カスタマーセンター